

MX787190F

MCTS 統合ソフトウェア

ME7873F W-CDMA TRX/パフォーマンステストシステム

ME7874F W-CDMA RRM テストシステム

MX787190F MCTS統合ソフトウェア

- 製品紹介 -

2008年 11月
アンリツ株式会社
Ver 2.00

Discover What's Possible™
MX787190F-J-L-1

Slide 1

Anritsu

コンテンツ

1. 概要
2. 使用方法
3. 動作環境

Appendix

- 使用上の注意
- 制約事項



Discover What's Possible™
MX787190F-J-L-1

Slide 2

Anritsu

1. 概要

Discover What's Possible™
MX787190F-J-L-1

Slide 3

Anritsu

MX787190F MCTS統合ソフトウェアとは

ME7873FおよびME7874Fを制御する複数のソフトウェア(MCTSソフトウェア)を自動制御することで、連続試験を行うことが可能になります。

お客様が自由に試験のシーケンスを組むことができるため、例えば、数時間を要するような複数の試験項目を夜間に実行し、翌朝に結果を得ることができるなど、測定の効率化を図れます。



Discover What's Possible™
MX787190F-J-L-1

Slide 4

Anritsu

MX787190F MCTS統合ソフトウェアとは

ME7873F/74Fはオプションによって最大10種類のMCTSソフトウェアをサポートしています。

MCTSソフトウェア名	対応Work Item	TRX	Perf	RRM
TRXテストソフトウェア	WI-010/012/013	V		
パフォーマンステストソフトウェア	WI-010/012/013		V	
WI-014テストソフトウェア	WI-014	V	V	
TRX/パフォーマンス テストソフトウェア (Release6) *1	WI-024/076	V	V	
TRX/パフォーマンス テストソフトウェア (WI-025)	WI-025	V	V	
パフォーマンス テストソフトウェア (WI-049)	WI-049		V	
W-CDMA RRMテストソフトウェア	WI-010/013			V
RRMテストソフトウェア (WI-024)	WI-024			V
RRMテストソフトウェア(WI-025)	WI-025			V
RRMテストソフトウェア(WI-049)	WI-049			V

*1: GCF会議(CAG#15)にて、WI-024に定義されていたテストケースのうち、9章の全10テストケースがWI-024から削除され、WI-076のテストケースとして新たに定義されました。

アンリツはこのWork Itemの定義変更に伴い、下記の通り品名を変更いたしました。

TRX/パフォーマンス テストソフトウェア(WI-024) → TRX/パフォーマンス テストソフトウェア(Release6)

Discover What's Possible™

Slide 5

Anritsu

MX787190F-J-L-1

MX787190F MCTS統合ソフトウェアとは

通常のMCTSソフトウェアにて測定を行う場合、各ソフトウェア内で自由に測定項目を選択し、連続試験を実行できます。しかしながら一つのソフトウェアしか立ち上げることができないため、別のソフトウェアの試験を行う場合、ソフトウェアを起動しなおす必要があります。

MX787190F MCTS統合ソフトウェアを使用すると、各ソフトウェア内で作成したシーケンスファイルを読み込んで、連続試験を行うことができます。

Discover What's Possible™

Slide 6

Anritsu

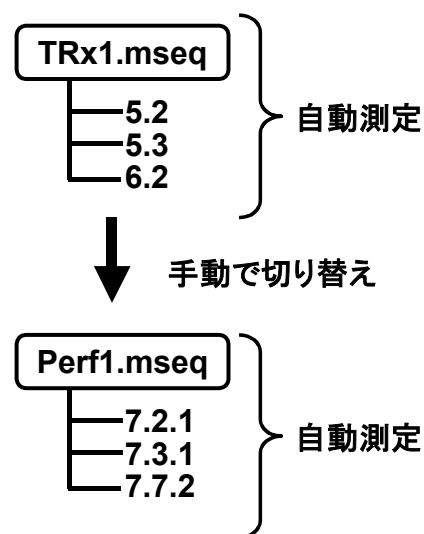
MX787190F-J-L-1

MX787190F MCTS統合ソフトウェアとは

例) TRX試験とPerformance試験を続けて行う場合

◆ 通常の測定手順

1. TRXテストソフトウェアを起動
2. 測定項目を選択し、シーケンスを作成
3. 試験開始
4. 試験終了後、TRXテストソフトウェアをクローズ
5. パフォーマンステストウェアを起動
6. 測定項目を選択し、シーケンスを作成
7. 試験開始
8. 試験終了



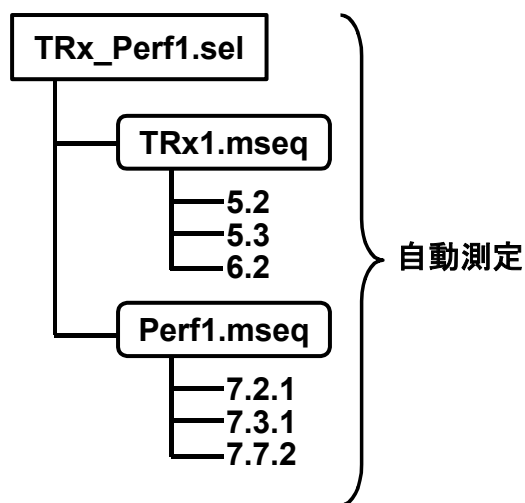
MX787190F MCTS統合ソフトウェアとは

例) TRX試験とPerformance試験を続けて行う場合

◆ MCTS統合ソフトウェアによる測定手順

1. MCTS統合ソフトウェアを起動
2. シーケンスファイルを選択し、シーケンスリストを作成
3. 試験開始
4. 試験終了

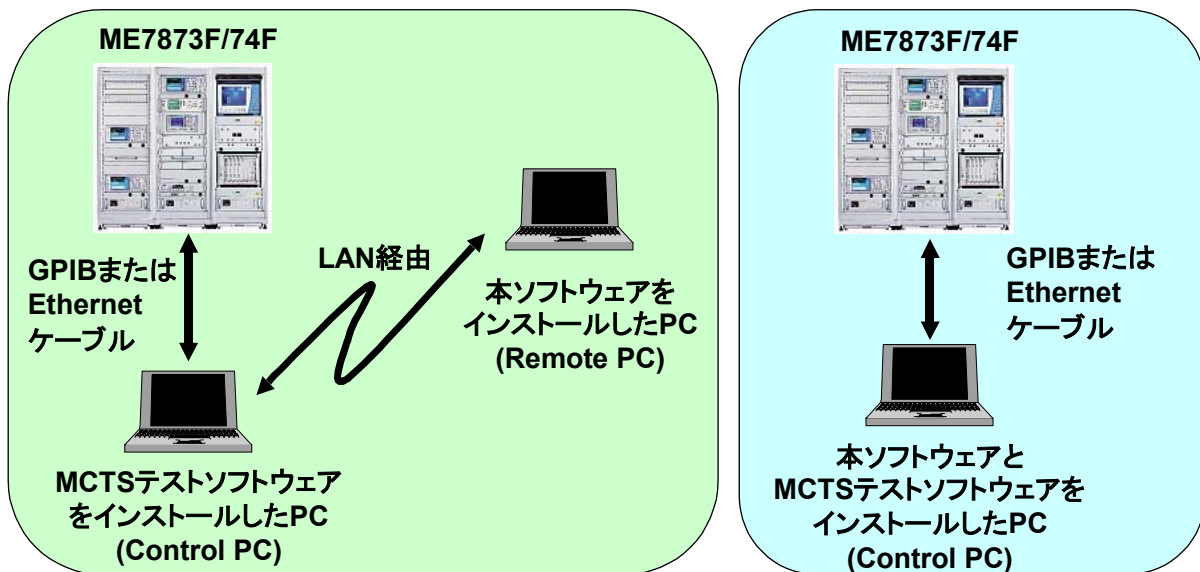
手動で複数のMCTSソフトウェアを立ち上げる必要がなくなります。



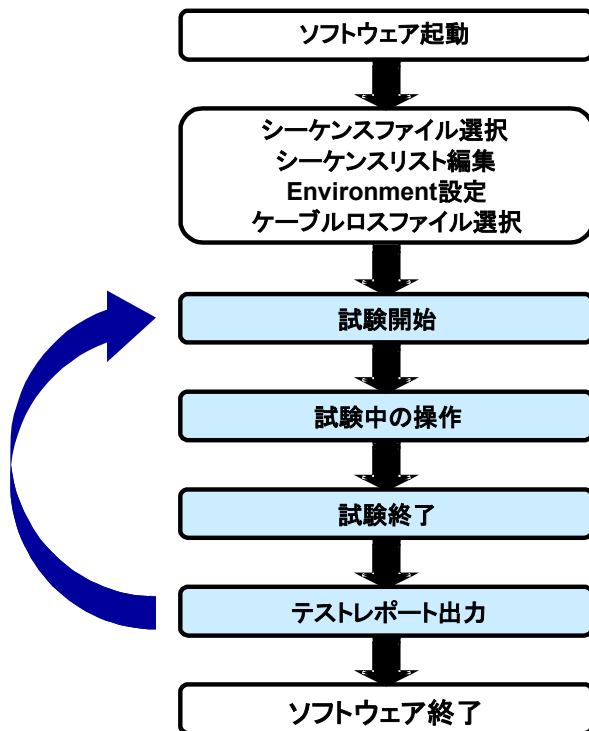
2. 使用方法

システム接続図

本ソフトウェアは、下記の通りテストソフトウェアを制御することができます。
(なお、インストール、アンインストールは取扱説明書に従い、お客様自身で実施してください。)



基本的な操作フロー



MCTS統合ソフトウェアの起動

MCTS統合ソフトウェアを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。

ツールバー:
機能のボタンを表示

ステータスバー:
試験状況を表示

ステータスウィンドウ:
試験項目を表示

シーケンスウィンドウ:
測定予定のシーケンスを表示

Test Reportウィンドウ:
試験結果データおよびエラー情報を表示

情報ウィンドウ:
試験の補助記録を表示
測定時間、ファイル名など

シーケンスファイルの選択

試験を開始する前に、以下の手順でシーケンスファイルを選択します。

1. 【Open Seq】ボタンをクリックし、シーケンスファイルを選択する。選択されたシーケンスファイル情報がステータスウィンドウに表示される。

2. 試験項目を右クリックすると、詳細な試験条件の設定が可能

Item Name	Value	Unit
PowerClass	3	
MaximumOutputPower	24.00	(dBm)
FrequencySeparation	190	(kHz)
DurationCorrection	<input type="checkbox"/>	
Scenario		

Discover What's Possible™
MX787190F-J-L-1

Slide 13

Anritsu

シーケンスリストの編集

シーケンスファイルを選択すると、シーケンスウィンドウに追加されます。お客様の試験計画に合わせシーケンスリストを作成し、連続試験を実施できます。

1. 【Open Seq】ボタンをクリックし、シーケンスファイルを選択する。

選択されたシーケンスファイル情報がシーケンスウィンドウに表示される。

Discover What's Possible™
MX787190F-J-L-1

Slide 14

Anritsu

その他の機能

「Environmentの設定」および「ケーブルロスファイルの選択」については、MCTSソフトウェアと同様の設定方法になります。

また、

Goボタン: 連続実行

Stepボタン: 1項目ずつ実行

Stopボタン: 一時停止

Retryボタン: 現在の試験項目を再測定

Abortボタン: 全試験の中止

など、MCTSソフトウェアと同様の機能となっています。

3. 動作環境

製品構成

本製品はソフトウェア製品ですので、DVD-ROMでの提供となります。
取扱説明書はPDFファイルにて本DVD-ROMに格納されています。

また、本ソフトウェアをインストールするPCの推奨スペックは下記の通りです。

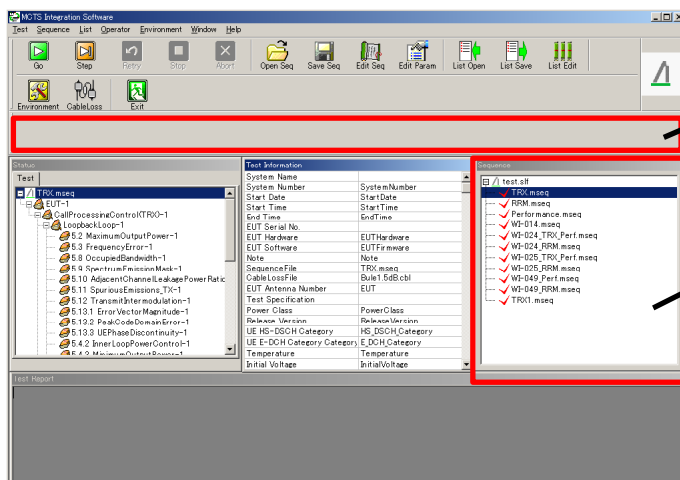
	条件	補足
CPU	Pentium 4 (動作クロック 2.4 GHz 以上) または Pentium M (動作クロック 1.6 GHz 以上)	Hyper-Threading/Dual-Coreは使用不可
OS	Microsoft Windows 2000 Professional SP4 以上	日本語版または英語版
メインメモリ	512 MB以上	
ハードディスク	10 GB以上の空き容量	
ディスク装置	DVD-ROMドライブ	ソフトウェアインストール、バージョンアップ時に必要
ディスプレイ	解像度 1024 x 768 ドット以上	
Ethernetインタフェース	100BASE-TX	

Appendix

使用上の注意点

注意事項 (1/2)

- GOボタンを押して測定を開始するまでに、Environment情報を送信するため、各ソフトウェアごとに約90秒のWait時間がかかります。(ステータスバーに設定中のコメントが表示されます。)
- 測定中は、シーケンスウィンドウを動作できません。



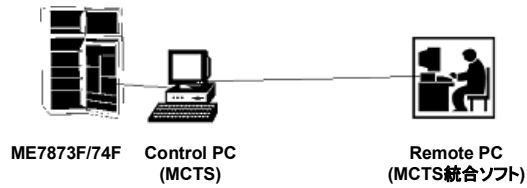
ステータスバー

シーケンスウィンドウ

メイン画面

注意事項 (2/2)

■ MCTS統合ソフトウェアをMCTSとは別PCで使用する際の注意事項



- MCTS統合ソフトウェアのライセンスは、ME7873/74F本体と1対1になります。(ME7873/74F 1台に対し、複数のRemote PCを立てることはできません。)
- 測定結果は、Control PCにのみ保存されます。

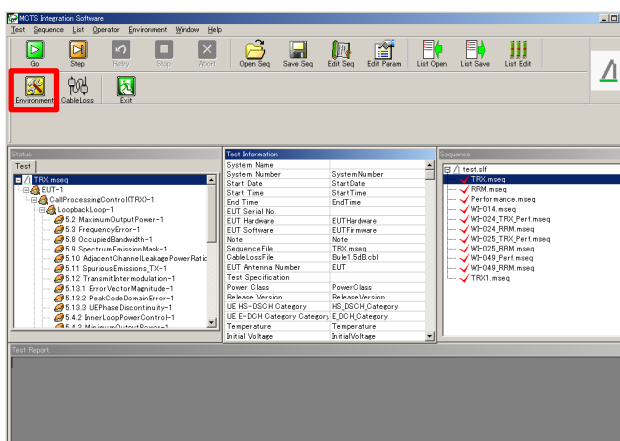
制約事項

制約事項 (1/2)

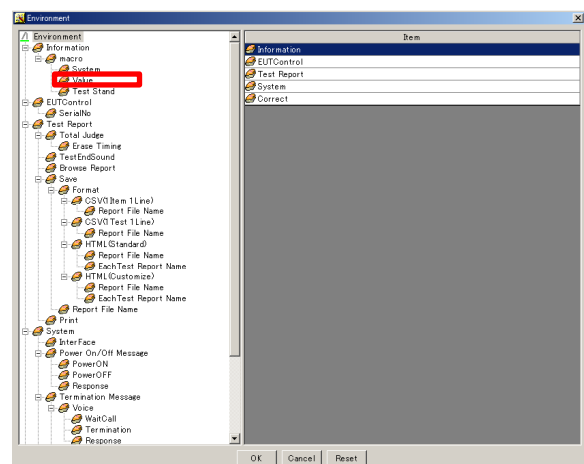
- MCTS統合ソフトウェア V6.14.x では、6.5.2.2 Blocking Characteristics Out of-band の測定に対応していません。本試験を行う際はMCTSソフトウェアにて測定を行ってください。
(2009年1月リリース版 V6.15.xから対応予定)
- MCTS統合ソフトウェア V6.14.x では、Windows XPに対応していません。
(2009年1月リリース版 V6.15.xから対応予定)

制約事項 (2/2)

- Environment設定画面にて、Information → Macro → Value 内の項目の追加はできません。



メイン画面



Environment設定画面



お見積り、ご注文、修理などのお問い合わせは下記まで。記載事項はおことわりなしに変更することがあります。

アンリツ株式会社

<http://www.anritsu.co.jp>

本 社 TEL046-223-1111 〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1

営業第1本部

第1営業部	046-296-1202	243-0016	神奈川県厚木市田村町8-5
第2営業部	046-296-1202	243-0016	神奈川県厚木市田村町8-5
第3営業部	046-296-1203	243-0016	神奈川県厚木市田村町8-5
第4営業部	03-5320-3560	160-0023	東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル
第5営業部	03-5320-3567	160-0023	東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル

営業第2本部

第1営業部	046-296-1205	243-0016	神奈川県厚木市田村町8-5
第2営業部	03-5320-3551	160-0023	東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル

北海道支店 011-231-6228 060-0042 札幌市中央区大通西5-8 昭和ビル

東北支店 022-266-6131 980-0811 仙台市青葉区一番町2-3-20 第3日本オフィスビル

関東支社 048-600-5651 330-0081 さいたま市中央区新都心4-1 FSKビル

東関東支店 029-825-2800 300-0034 土浦市港町1-7-23 ホープビル1号館

千葉営業所 043-351-8151 261-0023 千葉市美浜区中瀬1-7-1
住友ケミカルエンジニアリングセンタービル

新潟支店 025-243-4777 950-0916 新潟市中央区米山3-1-63 マルヤマビル

東京支店(信公庁担当) 03-5320-3559 160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル

中部支社 052-582-7281 450-0002 名古屋市東区名駅3-8-7 ダイアビル名駅

関西支社 06-6391-0111 532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル

東大阪支店 06-6787-6677 577-0066 東大阪市高井田本通7-7-19 昌利ビル

中国支店 082-263-8501 732-0052 広島市東区光町1-10-19 日本生命光町ビル

四国支店 087-861-3162 760-0055 高松市観光通2-2-15 第2ダイヤビル

九州支店 092-471-7655 812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル

再生紙を使用しています。

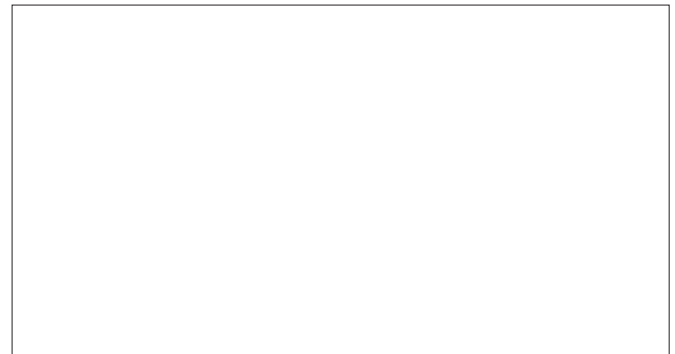
計測器の使用方法、その他についてのお問い合わせは下記まで。

計測サポートセンター

TEL: 0120-827-221、FAX: 0120-542-425
受付時間 / 9:00~17:00、月~金曜日(当社休業日を除く)
E-mail: MDVPOST@anritsu.com

●ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

0804



■本製品を国外に持ち出すときは、外国為替および外国貿易法の規定により、日本国政府の輸出許可または役務取引許可が必要となる場合があります。また、米国の輸出管理規則により、日本からの再輸出には米国商務省の許可が必要となる場合がありますので、必ず弊社の営業担当までご連絡ください。